

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年4月23日時点)

露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

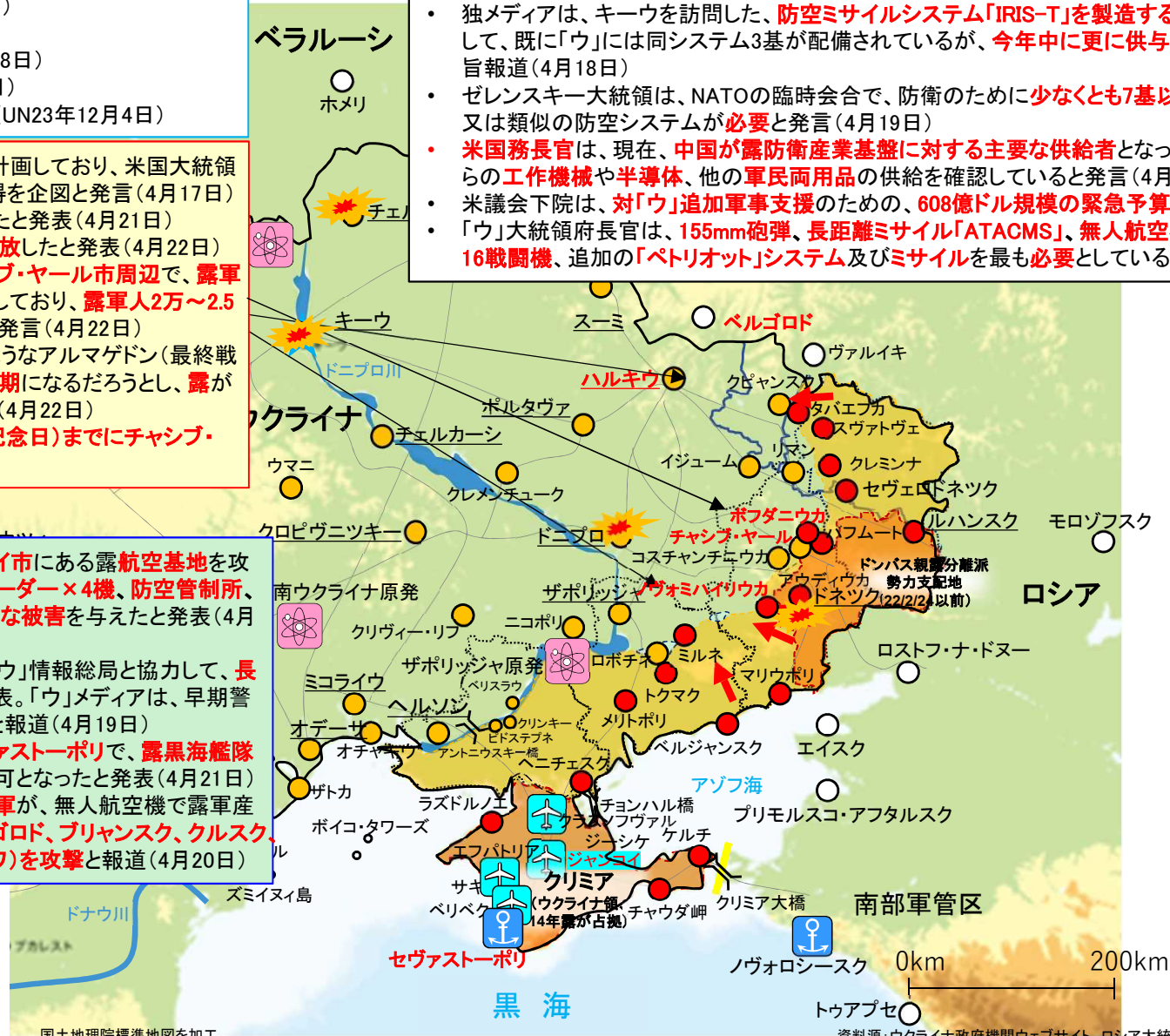
「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 「ウ」情報総局長は、露軍が夏季にドンバス占領を計画しており、米国大統領就任までに、ドネツク・ルハンスク州の最大限の獲得を企図と発言(4月17日)
- 露国防省は、ドネツク州のポフダニウカ村を解放したと発表(4月21日)
- 露国防省は、ドネツク州のノヴォミハイリウカ村を解放したと発表(4月22日)
- 「ウ」の「ホルティツィヤ」編組部隊報道官は、**チャシブ・ヤール市周辺で、露軍の第98空挺師団第217連隊が「ウ」軍と戦闘を実施しており、露軍2万~2.5万人が同市及び周辺集落への攻撃を試みている**と発言(4月22日)
- 「ウ」情報総局長は、多くの人が言及し始めているようなアルマゲドン(最終戦争)は発生しないが、**5月中旬、6月上旬は困難な時期になる**だろうとし、**露が前線等に限らない複合的な作戦を実施する旨示唆**(4月22日)
- ゼレンスキー大統領は、**露軍が5月9日(対独戦勝記念日)までにチャシブ・ヤール占領を計画している**と発言(4月21日)

- 「ウ」情報総局長は、「ウ」部隊がクリミア半島ジャンコイ市にある露航空基地を攻撃した結果、**S-400防空ミサイルシステム×4機、レーダー×4機、防空管制所、空域監視装置車両「フダメントM」を破壊又は甚大な被害を与えた**と発表(4月18日)
- 「ウ」空軍司令官は、空軍の対空ミサイル部隊が、「ウ」情報総局長と協力して、**長距離戦略爆撃機「Tu-22M3」を初めて撃墜した**と発表。「ウ」メディアは、早期警戒管制機A-50撃墜の際と同様、**S-200による撃墜と報道**(4月19日)
- 「ウ」海軍報道官は、「ウ」海軍の作戦の結果、**セヴァストーポリで、露黒海艦隊の潜水艦救難艦「コムーナ」が炎上し、任務実施不可となった**と発表(4月21日)
- 「ウ」メディアは、「ウ」情報総局長、保安庁、特殊作戦軍が、無人航空機で露軍産複合体施設向けの電力施設を標的とし、**8州(ベルゴロド、ブリャンスク、クルスク、トゥーラ、スモレンスク、リャザン、カルーガ、モスクワ)を攻撃**と報道(4月20日)

- ゼレンスキー大統領は、米メディアに対して、現在、露・「ウ」間の**砲兵火力差は10:1、航空機は30:1**であり、露は「ウ」領だけで航空機約300機を使用と発言(4月16日)
- 独メディアは、キーウを訪問した、**防空ミサイルシステム「IRIS-T」を製造する独企業社長の話として**、既に「ウ」には同システム3基が配備されているが、**今年中に更に供与される可能性**がある旨報道(4月18日)
- ゼレンスキー大統領は、NATOの臨時会合で、防衛のために**少なくとも7基以上の「ペトリオット」**又は類似の防空システムが**必要**と発言(4月19日)
- 米務長官は、現在、**中国が露防衛産業基盤に対する主要な供給者**となっているとし、中国からの**工作機械や半導体**、他の**軍民両用品**の供給を確認していると発言(4月19日)
- 米議会下院は、**対「ウ」追加軍事支援のための、608億ドル規模の緊急予算案を可決**(4月20日)
- 「ウ」大統領府長官は、**155mm砲弾、長距離ミサイル「ATACMS」、無人航空機、電子戦装備、F-16戦闘機**、追加の**「ペトリオット」システム及びミサイル**を最も必要としていると発言(4月21日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域



国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等